

セクハラを防げ!!! 教職員を対象に講演会を開く

トップニュース Top News



ビデオを使って分かりやすく説明された講演会の様子
=2月16日、事務局大会議室で

2月16日、事務局大会議室で、人事院中部事務局総務課職員係長の小林輝久氏を講師に招いて、「セクシュアル・ハラスメント防止のための講演会」が実施され、約110人もの教職員が出席した。

講演会では、本年4月1日から施行される“セクハラ防止等に関する人事院規則”について具体的に内容が説明されたほか、人事院が実施したアンケート結果に基づくセクハラを巡る現状、全国の大学でのセクハラ問題の実態等が紹介され、とりわけ言動を発する側と受ける側や男女間での認識の相違等が指摘された。

講演後に行われた質疑応答では、「不快と思うかどうかは受け手によって異なるので非常に難しい」、「受け手の意思表示も大切なことだ」など活発に意見交換された。



配布されたパンフレット





巻頭言

金沢大学医療技術短期
大学部の閉校に当たって



医学部保健学科長
医療技術短期大学部部長

安東 醇
(医学部教授)

昭和47年5月1日に金沢大学医療技術短期大学部が親大学の金沢大学に併設短期大学として設置された。昭和42年の大阪大学、同46年の九州大学について3校目であり、関係者には大きな喜びであった。医学部附属看護学校、同診療放射線技師学校、同衛生検査技師学校を母体とし、これらを昇格させて医療短大部としたので、当時は看護科、診療放射線技術科、衛生技術科（昭和51年に学科と改称）と一般教養で構成されていた。昭和52年4月には専攻科助産学特別専攻が設置され、昭和54年4月には我が国で初めての文部省による理学療法学科と作業療法学科が増設されて、本学の医療技術短期大学部は完成した。この後は医療短大部の充実と4年制大学への昇格の準備であった。本医療短大部は約4,700人の医療技術者を育成すると同時に、保健医療科学の創生、構築の役割を果たし、医学部保

健学科の基礎を築いた。医療短大部の4年制大学への昇格は文部省の方針により、医学部保健学科として実現することとなった。平成5年10月の大阪大学、同6年10月の神戸大学について、同7年10月1日に本学医学部保健学科が設置された。これはまさに、卒業生の各方面における活躍、多くの関係者の長年にわたる努力と準備、さらに多くの方々の御支援の賜であり、平成8年度から医学部保健学科として学生を募集することになった（専攻科は平成10年度まで募集）。医療短大部は平成11年3月31日をもって閉校し、これまで培ってきた教育・研究の成果を医学部保健学科へ引き継ぎ、21世紀の医療を担う保健医療科学の発展へと道を開くのである。

医療短大部の設置から閉校までに多くの方々に御協力、御支援いただき、大変お世話になった。厚く御礼申し上げたい。

受験生、緊張の朝...
平成11年度“二次試験”始まる!

2月25日、8学部四つのキャンパスで「平成11年度金沢大学入学者選抜試験(前期日程)」が行われ、(一部を除いて)外国語を皮切りに受験生は緊張した面持ちで問題に取り組んだ。3月9日に合格者が発表される。

なお、後期日程の試験は、3月12日、合格発表は3月21日となっている。



前日に座席の確認をする受験生
=2月24日、医学部保健学科玄関前で



問題が配られるのを緊張して待つ受験生
=2月25日、文・法・経済学部A101教室で

《受験者数等に関するデータ》

受験者総数 3,986人 (実質倍率 2.82倍)
[昨年 " 4,088人 (" 2.84倍)]

志願者総数 4,178人 (倍 率 2.95倍)
[昨年 " 4,273人 (" 2.97倍)]





外部評価導入へ “平成10年度 大学フォーラム(第2回)”行われる

「外部評価に関する講演会」が、2月15日、事務局大会議室で、平成10年度金沢大学フォーラム(第2回)として開催され、部長をはじめ関係者100名余りが出席した。

これは、本学が財団法人大学基準協会の相互評価を平成12年度に受けることを決定しているが、それに先立ち、教職員が外部評価への理解を深めることを目的に行われたものである。

講演会では、同協会の^{おなみまさてる}大南正瑛氏から、大学評価の意義・目的及び相互評価の概要等についての講演が、また、前田早苗氏から、相互評価の実務手続等についての説明があった。その後の質疑では「研究業績の評価も大切だが、教育面での評価は重視するのか」、「どのようなヒアリングや実地視察が行われるのか」などの質問が相次いだ。



= 大学基準協会副会長で相互評価委員会委員長の^{おなみまさてる}大南正瑛氏(学校法人立命館前総長)



= 大学基準協会事務局の前田早苗氏



たくさんの質問が寄せられた質疑の様相
= 2月15日、事務局大会議室で

工学部附属 電磁場制御実験施設

外部評価委員会を開催

左から、高嶋武本学工学部附属電磁場制御実験施設長、吉野弘人委員、武部啓委員、原田耕介委員
= 2月3日、東京KKR弥生会館で



林勇二郎工学部長(中央)をはじめとする工学部関係者
= 同上



2月3日、東京KKR弥生会館で工学部附属電磁場制御実験施設の外部評価委員会が開かれた。

これは、平成14年3月の時限付で設置されている同施設の再編に向けて、武部啓委員(近畿大学)、原田耕介委員(熊本工業大学)、宮健三委員(東京大学、当日欠席)、吉野弘人委員(北陸電力株式会社)の4名の有識者に依頼して外部評価を行ったもの。

なお、外部評価報告書は、3月中に出版される予定である。



創立50周年記念行事のポスター完成 郵便料金計器の印影にシンボルマーク等も使用

このほど「創立50周年」の記念行事をPRするポスターが完成し、学内や金沢市内公共機関などに配布された。

ポスターでは、「50周年記念展示」、「特別講演」、「国際シンポジウム」、「その他の記念事業・行事予定」を案内しており、広く一般参加も呼びかけている。

また、郵便料金計器の印影にも、記念事業のシンボルマークや校章の原形であるアカンサス(和名「ハアザミ」)を図案化したものを追加製作し、郵便物を発送しており、記念事業の盛り上げに一役かっている。



事務局・学生部からの郵便物発送に使用されている印影



このほど完成したポスター

外国人留学生 スキーや伝統芸能を満喫

毎年恒例の外国人留学生を対象とした「スキー講習会・留学生交流行事」が2月19・20日の両日実施され、留学生、ボランティア学生及び教職員の計56名が参加した。

初日は、コマツ栗津工場で大規模機械製作の生産ラインを見学した一行が、続いて白山麓の尾口中学校を訪問。生徒と一緒に百人一首、ペタンク等のゲームを楽しみながら交流を深めた。夜には、古典芸能「文弥人形浄瑠璃でくの舞」を鑑賞し、日本文化の趣深い世界を堪能した。

また、2日目は、降りしきる雪の中、慣れないスキーに挑戦した。



見慣れない雪に大はしゃぎの留学生たち
= 2月20日、白山一里野温泉スキー場(石川郡尾口村)で



“でく”を手にニコリ
= 2月19日、東二口歴史民俗資料館で





平成10年度退職予定者に対する 共済年金説明会を開く

人事課は、2月22日、事務局大会議室で「年度末退職予定者に対する共済年金等説明会」を開いた。

これは、退職後に支払われる退職手当、退職共済年金等について、それぞれの担当者がわかりやすく説明するもので、平成10年度末の退職予定者のうち32名が出席し、真剣な表情で説明を聞いた。



白板を使い、わかりやすく説明する人事課担当職員
=2月22日、事務局大会議室で

「自己啓発研修」 閉講式を行う

2月1日、事務系職員を対象とした「自己啓発研修」の閉講式が、事務局大会議室で行われた。

この研修は、放送大学が開設する授業科目のビデオテープなどを教材に、昨年10月からほぼ3か月かけて行われ、終了後に実施された試験により、同大学の単位が認定される。



閉講に当たりあいさつする吉田真言庶務部長
=2月1日、事務局大会議室で

放射線施設5か所を立入調査



アイソトープ総合センターでの書類審査
=2月24日、同センター会議室で

本学の放射性同位元素委員会は、2月から3月にかけて学内のすべての放射線施設(5か所)の立入調査を行った。この調査は、同委員会が毎年この時期に安全確認のため行っているものであり、2月24日に行われたアイソトープ総合センターの調査では、5人の委員が調査官となって施設に立ち入り、書類審査や聞き取り調査などを行った。



白梅寮 追コンで卒業を祝う

2月5日、白梅寮で、寮を巣立つ学生の追い出しコンパが盛大に行われた。

4年間の寮生活を振り返りながらの催しに、岡田晃学長や大橋信喜美留学生センター長らも加わり、寮生たちは和気あいあいと、コントに替え歌にと大いに盛り上がった。



4年間の思い出を盛り込んだ替え歌を楽しむ
= 2月5日、白梅寮で



金沢大学50年の歩み

50年史編纂室収集資料から
(その8) 医学部附属病院(宝町キャンパス)の今昔
—— 昭和50年代後半 ——

開学当時の医学部附属病院は、ごく一部を除いてその大半が明治38年にできた木造の建物であった(写真1)。この頃の病院は、正門を入ると、正面に2階建ての本館が、それに続いて薬局、これを取り囲むように各診療科の建物があり、それぞれに外来、病室、手術室、研究室などを備え、医師や看護婦、検査技師も所属するなど各診療科が独立する形態をとっていた。

昭和30年代に入り、より高度な医療への対応、老朽建物を解消するため病院施設の改築が行われ、検査、手術、病棟などが1か所に集中するいわゆるアメリカ方式の「中央システム」となった(写真2)。

この二つの写真を比べてみると、宝町キャンパスの背後地にある旭町や鈴見町、若松町は、昭和20年代には田畑が一面に広がる田園地帯であるが、現在では多くの家が建ち並ぶ宅地と化しており、50年の時の移り変わりがよく分かる。

今、医学部附属病院では、21世紀を展望して、人間性を重視した質の高い医療、高次医療機関としての機能強化、地域医療への貢献など診療、教育、研究が一体となって機能するパリアフリーホスピタルを実現するため、再開発事業に着手している。

【写真提供】

元医学部附属病院管理課技術係長 山根一男氏

【参考文献】

「読売新聞(朝刊)」昭和56年10月25日付け掲載記事



開学当初の宝町キャンパス(写真1)



昭和59年頃の宝町キャンパス(写真2)

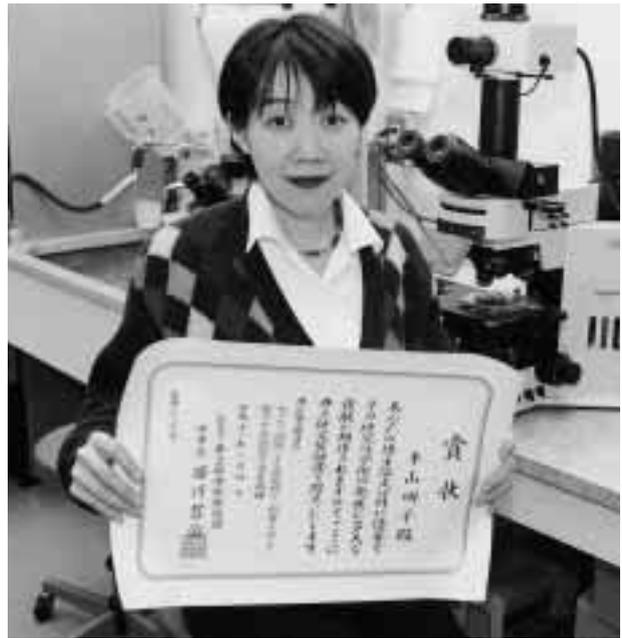




平山(白土)明子講師 (薬学部)に 井上研究奨励賞

財団法人井上科学振興財団は、理学・医学・薬学・工学・農学等の分野で優れた博士論文を書いた若手研究者に贈る「井上研究奨励賞」の平成10年度受賞者の一人に本学の平山(白土)明子講師(薬学部)を選出し、2月4日、KKRホテル東京で贈呈式を行った。

同講師は、精子になる前に死滅してしまった細胞を処理する精巢の機構を論文にまとめた。その題目は、「セルトリ細胞による細胞膜リン脂質を介した精子形成細胞の貪食機構」である。



賞状を手にする平山(白土)講師
= 3月10日、薬学部内研究室で

3月26日に「日本海域国際フォーラム in 金沢」を開催

日本海域研究所(所長:岡田晃学長)は、3月26日(金)に工学部秀峯会館で「日本海域国際フォーラム in 金沢」を開催する。

このフォーラムは国際会議形式としては、今年で2回目

で、今回は、中国、ロシア、韓国、日本の研究者による13の講演(又は発表)が計画されている。

聴講は自由で、広く一般参加も歓迎する。

編集後記

桜のたよりも聞こえる季節となり、日増しに春めいてきました。

例年のことながら年度末の多忙さに多少ながら心が引き締まる思いです。

さて2月には、セクシュアル・ハラスメントの防止と外部評価に関する講演会が2日連続で開催され、大勢の職員が興味深く耳を傾けました。セクシュアル・ハラスメントに関しては、我々職員一人ひとりの意識改革が求められる点で身につまる思いがしますし、外部評価に関

しては、昨年10月に出された大学審議会答申で示された「第三者評価機関」とあいまって、これからの大学が自己による評価から外部による評価を受ける時期に来ていることを痛感しました。

21世紀に向けて我々大学人は、外部の声に耳を傾け、学内外から求められる大学像の確立に努める必要があると感じる日々である。

(上梨)



留学生が交流!!



興味深げに“でく”を操ってみる一行
= 2月19日, 東二口歴史民俗資料館で

(関連記事は4ページ)

THE DORAKU ⑨

書

読める? 読めない?

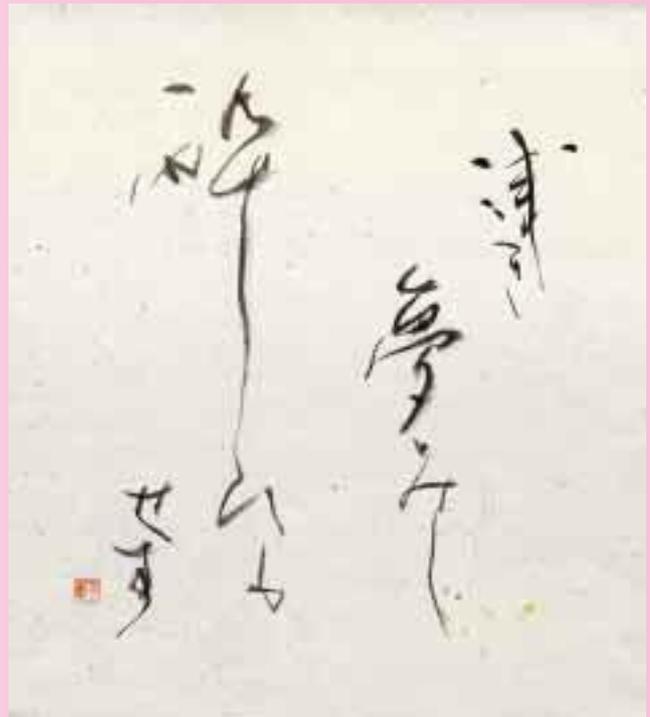
新米弟子 「書展を見に行っても書いてある字が読めなくて楽しくないのですが。」

兄弟子 「読めなくてもいいんだよ。その作品の前に立った時、感動とまでいなくても好きか嫌いが見ていけばこういう作品を書きたいと思うものがでてくるんじゃないかな。」

高弟 「読めない、何が書かれているのか全くわからないで片付けられてしまうのはやはり寂しいね。数年前に書壇の大御所が、読める書、親しめる書作品の研究・発表を奨励されたんだよ。でもこれまで古筆の勉強ということを厳しく言われてきた我々にとって、伝統のない「読める書作品」というのは何をたよりに書けばよいか悩んでしまうよ。」

師 「読める読めないということは、書の芸術性とは関係ない筈なんだけど。読める書が鑑賞者の感動を呼び親しみを覚える作品でなければならないとすると、題材の内容や文字の雰囲気、墨色等が相まって見る人に訴えかける何かがあるということが必要だね。」

向 千恵子(教育学部)



平成11年3月19日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町
金沢大学庶務部庶務課研究協力・広報係

TEL 076-264-5019
FAX 076-234-4010

本紙の内容、その他本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ 愛称 “ KUPIS ” (キューピース) 」

(アドレス = <http://www.kanazawa-u.ac.jp>) でもご覧いただけます。

本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール (E-mail) = general1@kenroku.ipc.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。

